

当社路線バスが中扉を開けた状態で走行した事象について（お詫び）

この度、当社の路線バスが中扉を開けた状態で走行した事象が発生いたしました。

当該路線バスにご乗車されたお客様をはじめ、当社ご利用のお客様、関係する皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

尚、本件に伴うお客様の怪我はございません。

当社といたしましては、今般の事態を厳粛に受け止め、全乗務員に対する扉操作時等の安全確認の再徹底及び保安装置の緊急点検を実施し、再発防止に向けて全力を挙げて取り組み、信頼回復に努めてまいります。

本件については関係当局に報告を行っております。詳細は下記のとおりです。

記

1. 発生日時

2023年10月30日（月） 8時56分頃

2. 当該路線バス

印西牧の原駅北口 8時45分発 小林駅北口行き 乗車人数3名

3. 発生場所

小林中学校バス停～小林コミュニティプラザバス停間

4. 状況

8時45分に印西牧の原駅北口を発車したバスにおいて、小林中学校バス停発車時から小林コミュニティプラザバス停まで乗車口扉（中扉）が開いている状態で走行してしまった。

5. 原因

小林中学校バス停で乗車されたお客様対応に気を取られ、乗務員が発車する際に乗車口扉を閉める操作を行わないまま発車してしまった。

通常は乗車口扉が開いているとアクセルインターロックが作動することにより発車できないが、当該車両はその時点では不具合によりアクセルインターロックが作動しなかった。

6. 再発防止策

今般の事態を厳粛に受け止め、全運転士に対し扉操作時及び発車時における安全確認の再徹底を図ります。

当該車両のアクセルインターロックが正常に作動する状態にするとともに、全車両の保安装置（アクセルインターロック等）について緊急点検を行います。

以上